

第2学年 道徳科学習指導案

日時 令和7年10月8日(水) 公開授業Ⅱ

児童 13名

指導者 鈴木 美奈子

1 単元について

(1) 単元名 「えがおのひみつたんけんたい ～はたらくこと～」

(2) 教科等横断的単元構想図【道徳科+生活科】

〈児童の実態と教科横断するよさ〉

地域の人々の活動や仕事が自分たちの生活を支えていることを実感することまでには至っておらず、自分の経験や気づきを工夫して伝えることができる児童は多くない。「他者に対する受容・共感・敬意」と「表現力」を育成するために、道徳科と生活科をつなぐ。

〈生活科〉

「まちが大好き探検隊」の活動を振り返り、働いている人が笑顔だった秘密を調べるために、探検したい場所や目的を明確にしなが探検の計画を立てる。

「どうしたら、働いている人の笑顔のひみつが分かるかな。」

行きたい場所や目的、約束などについて話し合わせ、探検の計画を立てる。

〈生活科〉

お店や施設で仕事をする人たちの思いや仕事の仕方などを聞き取ったり手伝ったりして、仕事の楽しさや大変さなどに気づく。

「笑顔でお客さんに話しかけるのは、難しかったな。」

仕事の大変さや楽しさ、仕事をしている人たちの思いや適切な接し方に気付く。

〈生活科〉

自分が体験したことをまとめたり、友達と伝え合ったりして、体験して気付いたり考えたりしたことを表現する。

「見えないところで一生懸命に働いていたよ。発表では働いている様子をやってみせよう。」

伝えたいことが相手に分かりやすく伝わるための方法について考える。

〈道徳科〉

「勤労、公共の精神」についての学習をし、みんなの役に立つことの嬉しさややりがい、自分自身の成長を感じて、みんなのために働こうとする。

「みんなのために働くことは、人の役に立つことだけではなく、みんなに喜ばれることもあるのだな。」

働くことのよさや大切さに気づき、みんなのために進んで役立とうとする態度を育てたい。

○自己(人間)の生き方にかかわる目指す児童の姿(育みたい資質・能力が表われた姿)

〈生活科〉

地域の人々と関わる活動を通して、働いている人々の仕事に対する思いや生き方に触れ、笑顔で働く秘密について地域の人に伝えたいことや伝え方を選んで発表し、地域への愛着をもって地域の人々と進んで関わろうとする児童。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
道徳科	評価の視点 みんなのために働く喜びについて考えを深めている。		
生活科	① 地域で生活したり働いたりしている人々や場所が自分たちの生活を支えていることや、それらが自分と関わっていることが分かっている。 ② 地域の親しみを感じる人々が増えたり、それらの人々や場所が自分たちの生活を楽しくしたりしていることに気付いている。 ③ 様々な人々に関わる際、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしたり、探検を行ったりしている。	① 会ってみたい人、してみたいことを思い描きながら、計画を立てている。 ② 地域の場所におけるふさわしい行動を予想しながら、活動の計画を立てたり、約束を決めたりしている。 ③ 地域の場所や人々を、自分の生活と関連付けながら捉えている。 ④ 好きになった場所や親しくなった人々などのことを振り返りながら、友達や地域の人々などに知らせている。	① 地域の場所や人々に関わることへの関心や期待をもちながら、それらと繰り返し関わろうとしている。 ② 地域の場所や人々に応じて、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。 ③ 地域の場所や人々への親しみや愛着をもって、それらのよさを大切にしようとしている。

3 指導計画（28時間）

	小単元名（時数）	ねらい・学習活動（時数）	考える活動の手立て	知	思	態
生活科	1 えがおのひみつについて知りたいことを話そう。（5）	学習課題を設定し学習の見通しをもつ。（1）	ア 考えを引き出す エ 考えをつなげる			①
		地域の人々に関わることへの期待をもち、探検の計画を立てる。（4）	イ 考えを整理・分析する		① ②	
	2 しごとのひみつをさぐろう。（6）	仕事をする人たちの思いを聞き取ったり、手伝ったりして、仕事の楽しさや大変さに気づく。（6）	ア 考えを引き出す	③		②
道徳科	4 「いま、ぼくにできること」を学習しよう。（1）（本時）	体験して気付いたり考えたりしたことを表現し、他のグループの友達に伝え合う。（3）	イ 考えを整理・分析する	①	③	
		「いま、ぼくにできること」を学習し、働くことのよさを知り、みんなのために働いて役立とうとすることについて、学習する。（1）	ウ 考えをまとめる			
生活科	5 地域の人にえがおのひみつを伝えよう。（12）	地域の人たちに、笑顔で働く人々の秘密を伝える発表会を行い、お世話になったお店の方や地域の人達に感謝の気持ちを伝え、地域への愛着を深める。（12）	ウ 考えをまとめる		④	①
		6 学習の振り返りをしよう。（1）	単元を振り返り、つけた力を確かめる。（1）	エ 考えをつなげる	②	

<p>展 開 34 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域で決められた仕事をするのは、みんなのために役立つから嬉しいことなのだ。 ・働くことを通して、自分が成長できるのだ。 <p>5 働くことについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ働く人は、笑顔で働いているのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんに喜んでもらいたいと思って働いていること。働く人がいつも笑顔だったから。 ・自分の仕事に誇りをもっていること。お客さんには笑顔だけど、一人の時は真剣に仕事をしているから。 ・みんなの役に立とうと思って働いていること。難しいことでも仕事をすればお客さんが喜んでくれるのが「うれしい。」とお店の人が言っていたから。 ・自分が好きなことを仕事にしていること。自分が好きなことだから、作品を自分で考えて工夫して作ることができるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働くときの前向きな心が自分を成長させること、働く経験を積み重ねることで仕事をうまくこなせるようになること、相手に喜んでもらいたい、役に立ちたいという気持ちをもって働くこと、苦労や大変なことがあってこそやりがい・達成感があること、働くことで集団の役に立つこと等について捉えさせたい。 ・生活科のお店探検で会ったお店の人の様子や話、お店での体験、動画の話、家庭や地域での仕事等を自分との関わりで捉えて考えさせるために児童の発言に問い返す。 ・道徳的価値への理解を深めるために、児童の考えを働くことによさに分けて視覚的に板書に表す。 ・人の役に立つ喜び、仕事に対するやりがい、働くことを通して自分の成長を感じることといった視点で考えることで、働くことよさを実感できるようにする。 <p>全 個 全</p>
<p>終 末 8 分</p>	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・今までは先生やおうちの人に褒められるから働いていたけど、お店の人はお客さんに褒められなくても笑顔で働いていた。今は働くことはみんなの役に立つことだと分かった。これからはみんなに喜んでもらえるように当番や係の仕事をしたい。 ・今までは仕事はやらなくてはいけないものだと思って仕方なく働いていたけど、お店の人は自分から進んで働いていた。今はみんなのために働くことみんなが喜んでくれることが分かった。これからはおうちの人や町の人役に立つように働きたい。 </div>	<p>全 個 全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えの変容や深まりを自覚することができるように、学習前の児童の考えを示し、同じ考えかどうかを問う。 ・価値について自分との関わりで考えることができるように、「これまでは」、「今は」、「これから」という観点を示す。 ・今日の学習や単元の学習を通して、「こんな仕事がしたい」、「こんな人になりたい」、「こんな風に働きたい」等と思えるようになったことは、自分が成長したということだと気付かせたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【手立て ウ 考えをまとめる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科での学習経験等を基に過去の自分と比較して、これからどのような気持ちでみんなのために働いたらいいのか、日常生活でみんなのためにどんなことができるのかを考え、ワークシートに自分の考えを書くことで、働くことよさについて自分事として捉えられるようにする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを書く時間を保障することで、自分自身との対話の時間とし、これからの自己の生き方について考えながら内省できるようにする。

